

次世代高度ネットワーク九州地区 推進協議会の設立について



2004/7/21

次世代高度ネットワーク推進会議
第1回利用促進部会

<http://www.jgn.nict.go.jp/>

NICT

JGN を振り返って

JGNに対する潜在需要はかなり多い

- ・PR不足
- ・AP設置時期のタイミング
- ・足回り回線、実験機材調達



JGNプロジェクトの認知度向上

産学官に対するより一層のプロジェクトPRが必要

具体性

効率性

地域協議会がフォローできる分野とは

啓発・PR

情報提供・交換



具体的活用テーマ創出支援
(テーマ創出コーディネート)

- ・協議会組織における産学官連携機能の強化
- ・幅広いヒューマンネットワークの構築

次世代高度ネットワーク 九州地区推進協議会設立 (2004.6.14)

会 長 尾家 祐二(九州工業大学 情報工学部 教授)

副会長 岡村 耕二(九州大学 情報基盤センター 助教授)

推進部会

部会長 渡辺 健次(佐賀大学 理工学部 助教授)

副部会長 山崎 正幸(九州電力(株)通信企画グループ長)

広岡 淳二(NICT北九州IT研究開発支援センター副センター長)

事務局:九州総合通信局電気通信事業課・北九州IT研究開発支援センター

活動コンセプト

利用促進に向けての
周知・啓発

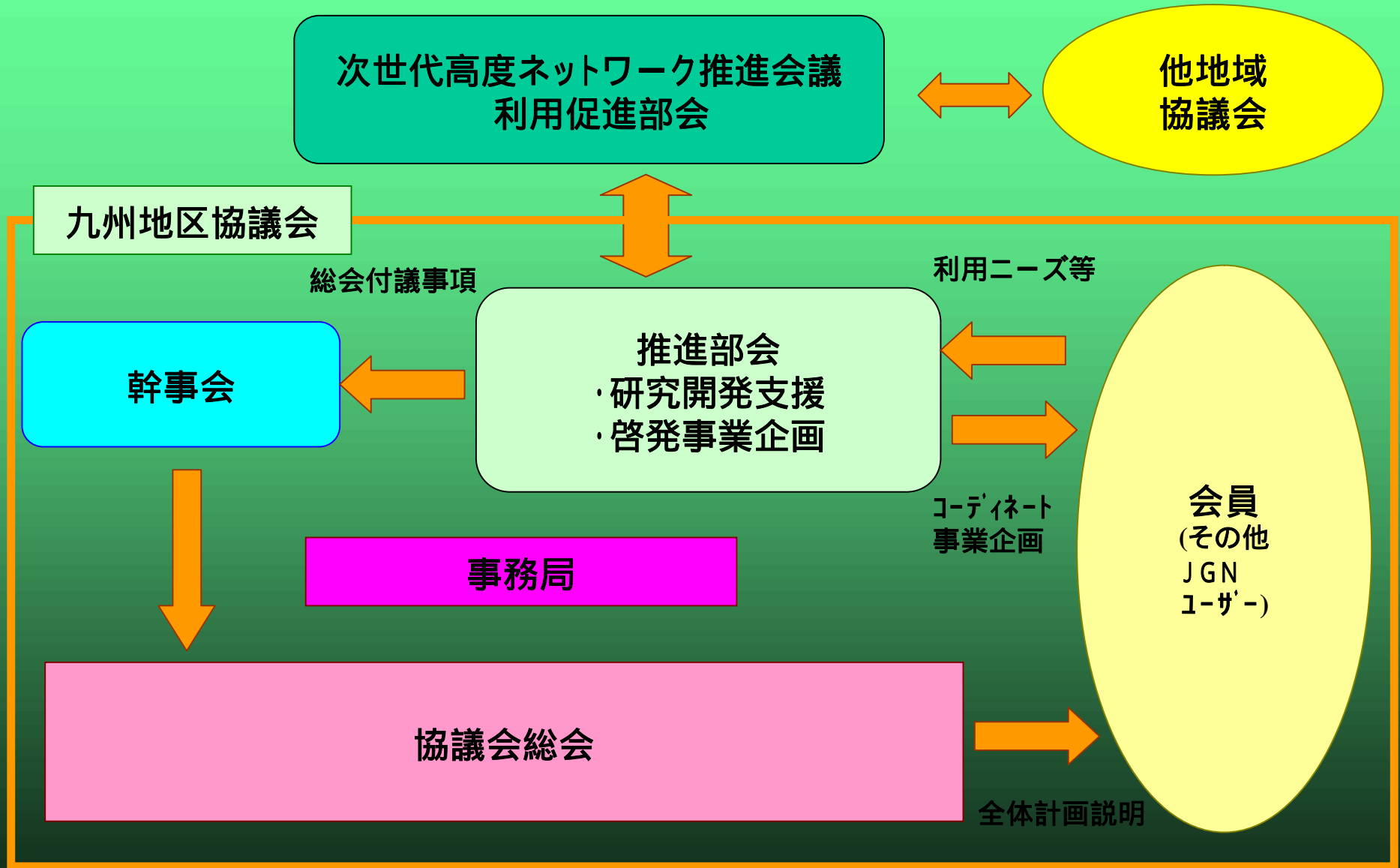
利用者からの
意見・要望の集約

九州地区におけるJGN
利活用促進

利用者間の情報交換
研究支援、成果発表

次世代高度ネットワーク
推進会議との連携

活動全体スキーム



推進部会概要

九州各アクセスポイントから産学官関係者を若干名ずつ選出していただき、協議会における具体的利用促進策等の検討を担う

研究開発支援部門

[九州地域におけるJGN 研究開発コーディネート支援]

各AP利用希望者に対する技術アドバイス
各AP間の研究開発ニーズ連携支援(ニーズ調査)
研究開発チーム創出支援

啓発事業企画部門

[JGN プロジェクトの広範囲な浸透]

JGN を活用したイベント事業企画・実施
・研究成果の幅広い紹介
・様々な分野を巻き込んだコラボレーション企画
・情報ハイウェイと連携した地域ITイベント支援

16年度活動計画概要

九州各地域におけるJGN プロジェクト浸透策の推進

プロジェクト説明会等の積極的開催

九州内の様々ITインフラとJGN をリンクさせた実験環境の構築

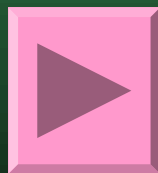
地域情報ハイウェイ、NICT研究設備等との連携

九州JGN シンポジウムの開催

具体的利活用への誘導となるようなシンポジウムの企画

次世代高度ネットワーク推進会議利用促進部会との連携強化

協議会全体としての部会参画、部会と連携したイベント事業実施等



協議会HP <http://www.kitaq-it.nict.go.jp/~jgn2kyu/>

(第一回推進部会 2004.7.14)

推進部会としての
JGN 活用策
(多地点ビデオカンファレンスシステム)

地域間連携プロジェクト
の創出検討
(地域間接続インフラとしてのJGN)

多方面におけるJGN
プロジェクトの紹介
(企業方面などに対して)

様々な層の方々に対する
成果紹介
(市民レベルに対しても分かり易く)

利用促進部会とタイアップ
した九州シンポの開催

JGN 研究開発拠点としての北九州IT研究開発支援センター活用例

北九州IT研究開発支援センター

遠隔利用

利用者



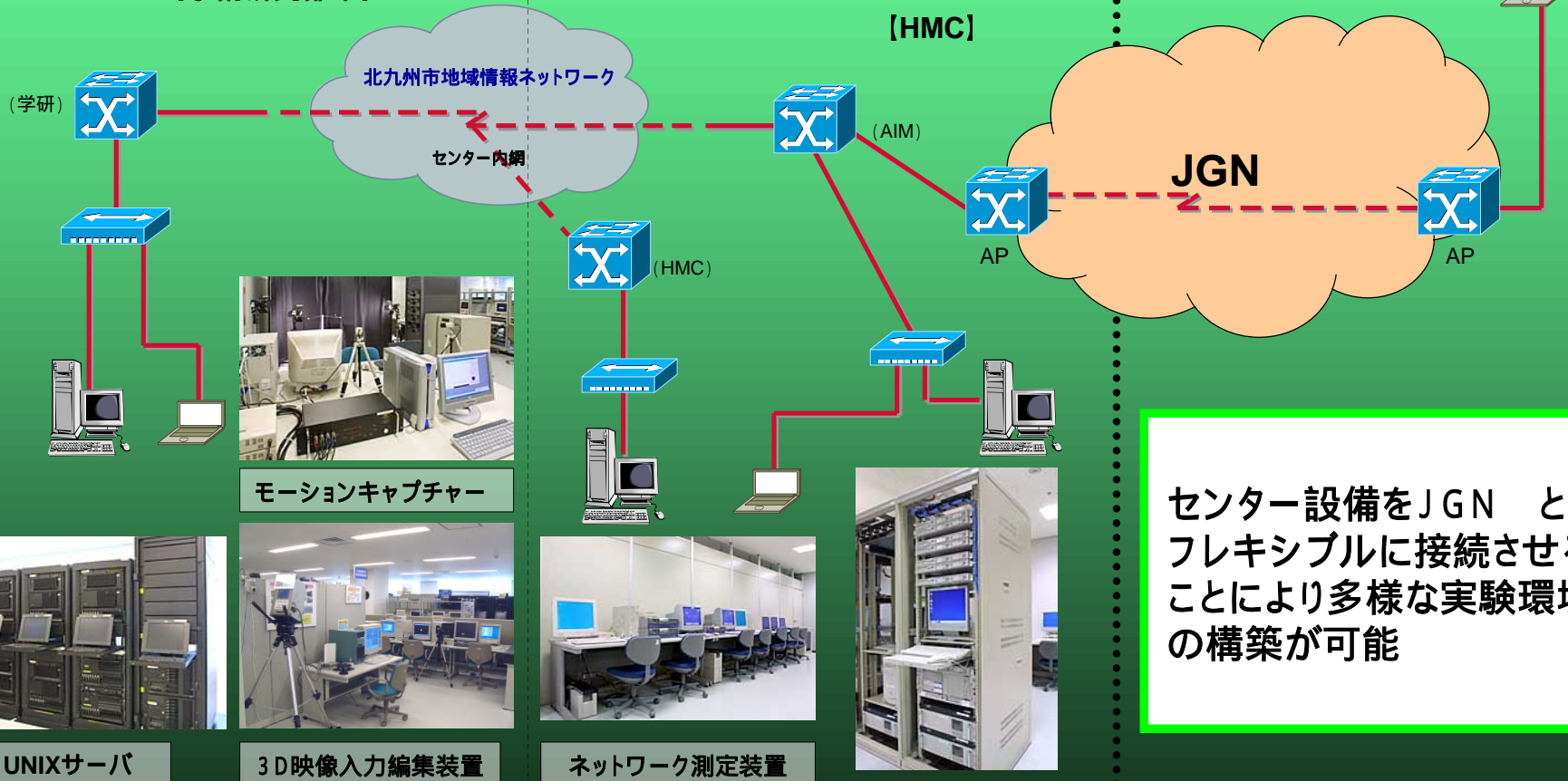
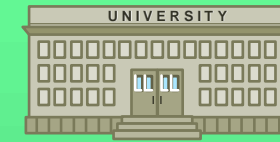
【学術研究都市】



【AIM】



【HMC】



センター設備をJGN と
フレキシブルに接続させる
ことにより多様な実験環境
の構築が可能

実験機器を持ち込みJGN を介した対向試験及び検証拠点としても活用可能